首都スポ SYUTOKEN SPORTS　おかげさまで60周年 東京中日スポーツ　@syutospo

1都7県の頑張るアスリート全力応援　首都圏スポーツ

大東大 4年生コンビ

テコンドー男子 五輪懸け16、17日アジア予選

そろってリオへ行く

テコンドーのリオデジャネイロ五輪出場権を懸けたアジア大陸予選（16～17日、フィリピン・マニラ、各級出場枠2）に、大東文化大から58キロ級の鈴木セルヒオ（4年・漢城高＝韓国）と68キロ級の山田亮（4年・新潟商）が出場する。階級は違えど、大学1年から切磋琢磨（せっさたくま）し、一緒に成長してきたライバルだ。テコンドーや五輪への熱い思いあり、プライベートの爆笑話ありと、21歳の仲良しトークをお届けします。

（取材・構成＝フリージャーナリスト・辛仁夏）

ぶっちゃけトーク

―テコンドーを始めたきっかけを教えてください

鈴木「始めたのはボリビアで5、6歳のころ。僕も亮と一緒で親から格闘技をやれと勧められ、当時から蹴り技が好きで、これいいなとたまたま始め、それからずっとテコンドー一本です」

山田「5歳から空手を始め、高校生で世界大会2位になりました。空手出身でテコンドー日本代表の笠原江梨香さん（ロンドン五輪7位入賞）がいることを知り、注目度が空手とは全く違っていました。僕は空手の世界では結構有名でしたが、全く取り上げてもらえなかった。もともと足技が得意で、空手の先生からテコンドーをやってみないかと誘われ、自分なりにかなり悩みましたが、やっぱりオリンピック種目に魅力を感じて転向しました」

―大学で出会ったおふたりは、お互いをどう思っていますか

山田「セルはこの素晴らしい顔立ちですが、よく『しゃべらなきゃ格好いいのにね』と言われ、ちょっと天然なんですよ。最近では、豆腐にしょうゆと間違えてウスターソースをかけていて、平気で半分くらい食った後に変だなと気がついていました（大笑い）。試合ではキリッとした目でいつも冷静で、安心して試合を見ていられます。そのギャップがすごくて魅力です」

鈴木「もういいでしょう（と、恥ずかしそうに）。亮は普通の友達というより、戦友ですね。僕も韓国での高校時代までは勝てなくて、大学1年時に初めて全日本学生選手権で優勝でき、青帯の亮も優勝して、同期では2人だけ。そこから一緒に成長してきて、今回の最終選考会でもお互いに優勝でき、すごい運命的なものを感じます。気持ちが強くて会場を沸かせる戦い方をする亮がうらやましい。

それに、空手出身で見た目はごつくて怖く、近寄りがたいイメージですけど（笑）、頭が切れ、ワガママでかわいかったりと少年のような心の持ち主で、単純で純粋ですね。彼はものまねが得意で、お笑いに関してはストイックです」

―どんなものまねを？

山田「（ドラえもんの）ジャイアンが一番得意です！」（ドヤ顔で）

鈴木「頼んでもやってくれませんが、（サッカー日本代表の）本田圭佑さんやジャイアンなど特徴を捉えるのが結構、うまいです」

―いま頼んだらやってくれますか

山田「（笑って）じゃあ、ジャイアンくらいなら。『おい！のび太！』。ピミョ～ですね（照れ笑い）」

一同「いや、うまい！」（と絶賛）

―いい友情関係を育んでいますね

山田「セルヒオが勝ったら『俺も絶対勝ってやろう』と思います。違う階級だけど、ライバルという関係だったおかげで自分も強くなれました。あまり認めたくないですが、感謝してます！（笑）」

鈴木「僕もやっぱり亮と出会えてからは、一緒に自主練もしたり、練習のない日も一緒に練習したり、テコンドーの話をよく語り合ったり。これほど真剣に向き合ってくれる人はあまりいないので、感謝したいですけど、オリンピックで金メダル取ってからにしようと思います。一緒にオリンピックに行って、お互いにいい成績を残したら最高だなぁ」

ふたり

―おふたりの目標は？

鈴木「幼いころからやっていて、指すようになったオリンピックのメダルーなスポーツ。ンドーを通えて、うので、やっぱり国のチャンスも少ない初めてオリンピックって行ったらいないので、やテコンドーです。それもモ

山田「僕は友達に冗談ぽく間になる』というなスーパーマクソンみたい界に衝撃が走りたいなと。ればなるほど驚かせることやっちゃうとますね（笑）」

―〝持って〟

山田「そうすると『持って選考会（1月勝つことは絶対した。僕は決者復活戦で白が、劇的な優っているな」ジア大陸予選ちゃうんじゃでもどんどんることを目標

―最後に、気込みをお願

山田「僕はランクが（高全く知られてラスに考え、のにして絶対ジア大陸予選つつも、チャに常に準備をような戦いを

鈴木「やっなので、現状いかに攻撃を最大限にれをつかんで調整をうまと思っていスタンやタイ勝たないと

58キロ級 鈴木セルヒオ 天然なイケメン、ギャップが魅力

◆鈴木セルヒオ（すずき・せるひお）　1994（平成6）年10月9日生まれの21歳。川崎市生まれ、ボリビア育ち。17歳、62キロ。高校時代に韓国へテコンドー留学。いずれも2015年に58キロ級で、全日本選手権優勝、初出場の世界選手権ベスト16、全日本学生選手権3連覇。最新世界ランキングは36位。家族はボリビア在住で、日本人の父とボリビア人の母、兄と弟。好物はうな重とカレーライス。好きな音楽は映画「ロッキー」のテーマソング。

68キロ級 山田亮 大舞台に強い持ってる男

◆山田亮（やまだ・りょう）　1995（平成7）年1月14日生まれの21歳。新潟市出身。171キロ、72キロ。幼少時に空手を習い、高校時代に世界大会2位。テコンドーは高2から。いずれも68キロ級で、2013年全日本学生選手権優勝、15年全日本選手権準優勝。最新世界ランキングは379位。大学3年時にテコンドー部主将。好物はバナナと焼き肉。好きなアーティストはマイケル・ジャクソン、湘南乃風。

オリンピック出場を狙う大東大テコンド一部の鈴木セルヒオ（右）と山田亮＝東京都板橋区の大東文化大学で（福永忠敬撮影）

（上）気合の入った表情で蹴りを繰り出す鈴木セルヒオ　（右）激しい練習をする山田亮（右）と鈴木セルヒオ

ご希望の方に掲載新聞フォトサービス後5時）へ。©マ